

みずほCustomer Desk Report 2020/08/04号 (As of 2020/08/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.17 AUD/USD
TKY 9:00AM	105.85	1.1782	124.67	1.3100	0.7146
SYD-NY High	106.47	1.1796	125.03	1.3113	0.7150
SYD-NY Low	105.58	1.1695	124.00	1.3005	0.7077
NY 5:00 PM	105.96	1.1763	124.64	1.3078	0.7123

NY DOW	26,664.40	236.08	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,902.80	157.52	日本10年債	0.020	1.00bp
S&P	3,294.61	23.49	米国2年債	0.112	0.40bp
日経平均	22,195.38	485.38	米国5年債	0.219	1.10bp
TOPIX	1,522.64	26.58	米国10年債	0.554	2.13bp
シカゴ日経先物	22,405.00	465.00	独10年債	-0.5240	0.85bp
ロンドンFT	6,032.85	135.09	英10年債	0.0995	▲0.25bp
DAX	12,646.98	333.62	豪10年債	0.8630	2.70bp
ハンセン指数	24,458.13	▲137.22	USDJPY 1M Vol	7.35	0.07%
上海総合	3,367.97	57.96	USDJPY 3M Vol	7.38	▲0.05%
NY金	1,986.30	0.40	USDJPY 6M Vol	8.03	0.05%
WTI	41.01	0.74	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	146.77	3.08	EURJPY 3M Vol	7.87	▲0.06%
ドルインデックス	93.54	0.19	EURJPY 6M Vol	8.30	▲0.02%

東京	東京時間のドル円は105.85レベルでオープン。先月末のドル買いの流れを引き継ぎ堅調に始まったドル円は、日系企業による大口買収報道も後押しして仲値にかけて上昇し、106.44をつける。その後は106円ちょうどの水準が意識され反落するが、105.80-90を中心とした推移が継続し、105.93レベルでクロス。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.93レベルでオープンし、動意に乏しい値動き。午前中はドル売りが一段加速し、105.58まで下落。その後はドル買いの動きが再熱し、ドル円は106円台まで戻し、結局106.21レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3070レベルでオープン。7月英製造業PMI確報値は53.3と、速報値の53.6から下方修正されたことを受けて、ポンド売りが優勢になり、1.3032レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は105円台後半でスタート。日系企業による買収関連の報道が意識される中、東京仲値にかけて106.44まで急伸するが、上に往ってこい。再び105円台後半で推移するが、早朝にかけて米株先物の上昇を横目に円売りが優勢となり、106.21まで上昇し、106.21レベルでNYオープン。朝方は米金利の上昇にサポートされ、ドル買いが進み、106.47までじりじりと上昇。しかし、海外時間高値(106.44)近辺では上値が重くなり、その後発表された米7月ISM製造業景況指数が予想を上回るも、ドル円の上昇にはつながらず、106円台前半まで反落する。午後は「トランプ米大統領が中国企業傘下の人気動画共有アプリを巡り、9月15日までに売却されなければ、米国内の営業を禁止する」と報じられるも、ドル円の反応は限定的。終盤は新規の手掛かり材料が乏しい中、105.90までじりじりと下落し、105.96レベルでNYクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.17台後半でスタート。7月のドイツ、フランス、ユーロ圏の製造業PMIが上方修正されたことを受けて、1.1785までじりじりと上昇する場面もあったが、早朝にかけてドル買いが強まり、1.1714まで下落し、1.1726レベルでNYオープン。朝方は米金利の上昇や、NY勢のドルのショートカバーが入ったことから一時1.1695まで下落。ドル買いが一巡した後は、ユーロがじりじりと買い戻される展開が続き、終盤に1.1768をつけ、1.1763レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月3日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q -0.6%/-2.2%	-0.7%/-2.8%
	22:45	米 マークイット製造業PMI・確報	7月 50.9	51.3
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月 54.2	53.6

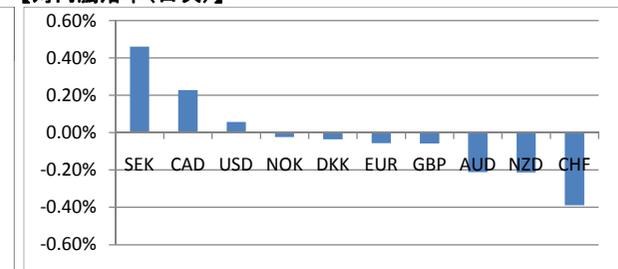
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月4日	08:30	日 東京コアコアCPI	7月 0.3%	0.4%
	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 2.4%	16.9%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	6月 5.0%	8.0%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	6月 7.3%	7.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-106.50	1.1700-1.1850	123.80-125.00

【マーケット・インプレッション】

日本時間は仲値前に106.44円まで上昇したもののその後反落し、105円後半での値動きに終始。海外時間には米長期金利の上昇に伴い106.47円まで上昇するも、結局押し戻され105.96円でクロース。昨日の値動きをみると、106.50円が一つの壁になっている印象。昨日米7月ISM製造業景況指数が予想を上回った数値を示したにも関わらず、反応が鈍かったことを鑑みると、106.50円近辺を高値として上値は重く、106円前半を挟んだレンジでの値動きになると思われる。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	甲斐	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	上遠野	松本	逸見	大谷	小林
ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア

ブル	ペア
6	14